

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	電子情報通信学会・第102回福祉情報工学研究会
演題名	字幕付き講義場面における聴覚障害学生の視線行動の分析
発表者	新井達也、若月大輔、塩野目剛亮
内容	<p>聴覚障害学生への字幕提示の方法として、これまでにスクリーンに提示して多くの人に見えるようにする方法の他、ノートPCを用いた方法、HMDを用いた方法、モバイル端末を用いた方法について多くの研究者による検討がなされている。</p> <p>場面に合わせた提示方法、およびアンケート調査による好ましさの評価、提示された字幕の読み方に関する検討はいくつか見られるが、字幕の情報源と字幕提示位置、その他の場所への視線移動に関する検討は見られない。</p> <p>本研究では、一般的な講義場面を想定し、スクリーンに2種類の字幕（通常の字幕、数式や図表が挿入された字幕）を提示して数学の授業を受けた際の聴覚障害学生の視線行動を分析した。分析結果から、提示する字幕の種類による視線行動の違いがないことがわかった。講義、字幕および配布資料を注視対象として、注視回数と注視時間ならびに視線移動確率の特徴を明らかにした。</p>